

せつこっこクラブ 12月「おめかしリボンをつくっちゃおう！」を開催しました。

日 時：平成30年12月15日（土）午後2時～4時

講 師：吉川佳菜子さん

対 象：小学生（小学3年生以下は保護者同伴、制作は子どものみ）

参加人数：15名（1年生3名、2年生2名、3年生3名、4年生4名、5年生1名、6年生2名）

参加費：500円（材料費）

職 員：野田、長岡

今回のせつこっこクラブでは、いくつになってもお洒落心を忘れなかった三岸節子にちなんで、華やかな季節にぴったりのリボンアクセサリーの制作を行いました。講師にカラーコーディネーターでリボン教室講師の吉川佳菜子さんをお招きし、配色を考えて自分だけのリボンアクセサリー作りに挑戦しました。

まず、講師の先生、学芸員とともにコレクション展（常設展）を見学して、色彩画家といわれた三岸節子の作品から、色使いについて学びました。赤い花の作品の前では、子どもたちから「暖かい感じがする」等の感想が出ました。カラーコーディネーターでもある吉川さん、「赤は警告色の一つで、注意をひく色ですね」等の解説を交



えながらも、子どもたちにもわかりやすい、やさしい口調で色についてお話ししていただきました。

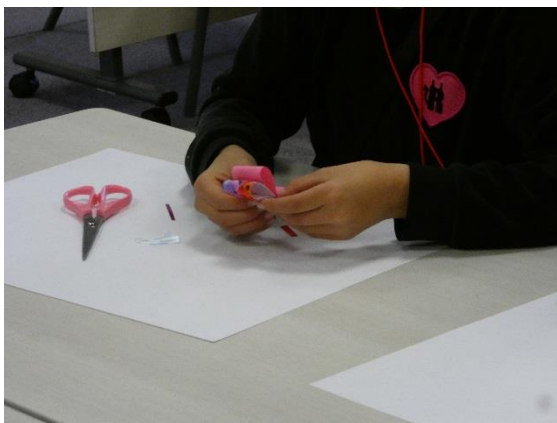


お話のあとは、早速リボン作りに入ります。先生が事前に作ってきてくださった見本の中には、三岸節子作品のカラーを取り入れたものも。どんなリボンにしようかな？と子どもたちの思いがふくらみます。リボン作りの手順を先生が説明していきます。

テーブルの上には、色とりどりのリボンがズラリ。この中から、配色を考えて2本を選びます。先生の「リボンの配色に正解・不正解はありません。自分がいい！と思ったものを選んで」「迷う時間も楽しいよね」の声に、子どもたちは楽しそうにリボンを選び始めました。



リボンの重ね方、折り方にも一つずつコツがあります。先生の解説をよく聞いて、低学年の子は保護者の方に手伝ってもらいながら、根気よく手順を重ねていく内に、だんだんとかわいらしいリボンの形になってきました。先生もすべてのテーブルを回って指導していきました。





高学年の子の中には、グルーガンを使いこなす子も。先生の指導を受けながら、安全に配慮して、道具を使用していきます。リボンの形ができた子から、ミニリボンや雪のような白いポンポンなどをさらにプラスして、オリジナリティを追求していきました。

リボンが完成したら、どんなヘアスタイルやファッションとコーディネートしてみたいか、デザイン画を描きました。自分をモデルにする子、ペットやぬいぐるみにつけてあげたいとデザインする子など、様々なデザイン画が出来上がりました。



最後は、リボンをつけたデザイン画をもって、皆の前でお披露目です。「クリスマスっぽい色にしました」「柄が見えるようにしました」等、お気に入りのポイントを1人ずつ発表していきました。先生からは「あえて柄がチラッと見える程度にしているのが素敵」「大人っぽい配色だね」「子どもたちは、大人では考えつかない組み合わせでリボンを作るからとても勉強になります」等、コメントをいただきました。



今回は特別講師を招いてのワークショップでしたが、子どもたちの自由な発想を伸ばすような声かけで、のびのびとした雰囲気で行うことができました。また、講師のInstagramや

当館フェイスブックを見た市外からの参加者や、市内でも初めて参加するという方の割合が多くありました。今後も「せつこっこクラブ」では、リピーターに楽しんでいただくとともに、これまで美術館に脚が向かなかった方も来てみたくなるようなイベントを企画し、美術館への、そしてアートへのプラットフォームとしての役割を担っていけるようにしていきたいと思えます。（学芸員 野田）

